

Illustrator で絵型を描く。

下絵をペンツールでトレースする (自動選択ツール)

自動選択ツールを使う

自動選択ツールは大変便利なツールである
このツールは同一色、同一の線幅等
一気に選択できるツールだ。

例えば絵型を書く際に輪郭 0.5mm、凹凸のある部分 0.4mm
切り替えやステッチ等は 0.2mm 等と
線幅を変えながら描く方がより見栄えの良い絵型になるのだが
その際ステッチ幅を同時に変更したいという時など
一箇所をクリックすれば同じ線幅を一気に選択できる。
また、プリント図案の色変更なども、色数を予め限定して描けば
何処か一色を選択すれば同じ色が全て選択されるのだ。

自動選択ツールをダブルクリックすると
自動選択パネルが表示される。
出てこない場合はウィンドウメニューの
下の方に自動選択の項目があるので
そこから表示させる。

許容値の数値が大きいほど
近似色を同時に選択する
カラーパレットの色が少しでも
違い別々に変更したい場合は
数値を 0 に設定する

カラー塗での設定は
ここにチェックを入れる。
プリント図案など色窓から
同色を選ぶ際に使う

カラー線での変更
同色の線を同時に選択する

同じ線幅を同時に選択
したい場合は
ここにチェックを入れる

許容値が
大きいと線幅が
異なっても
同時に選択される
基本的に数値は
0 が望ましい

同じ不透明度、同じ描画モードはここにチェック (使う機会は極めて少ない)

5

なぜなわツールを使う

ダイレクト選択ツールは選択したい範囲が
四角のエリア内と限定されししまう為入り組んだ場所での
選択には不向きである。
そういう時になぜなわツールでフリーハンドで
選択エリアを囲む様に選択する。

赤線枠内の様に
ダイレクト選択で選択すると
他の部分も触れてしまう様な
場所を選択するのに
適している

全ての選択ツールはキーボード Shift 押しで選択すると
選択範囲を追加し、キーボード Alt 押しで選択すると
選択範囲が削除される。

かなり重要！

選択ツールは 4 種類ほどあるが絵型を書く際には、選択ツール、ダイレクト選択ツールを頻繁に使う
自動選択ツールを使う機会はプリント柄の配色作成のことが多い。

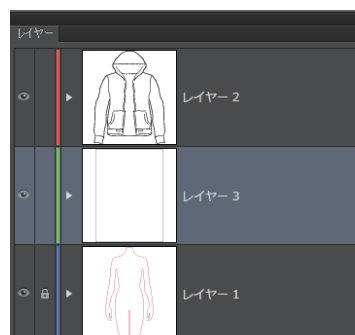
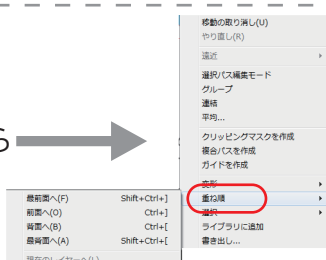
なぜなわツールは入り組んだ場所の選択には向いているが実際の所このツールを頻繁に使う機会はあまり無い。

レイヤーの階層について

Illustrator では基本的に最初に描いたものから
下側になり後から描いたものがそのオブジェクトの
上に重なる



最初に描いた図形も
右クリックで重ね順から
重なり順を
変更する事が出来る。



そうした順序に
関係なく
上下関係を作るのが
レイヤーである。

例えば図形をレイヤー 1 に描き
レイヤー 1 の上にあるレイヤー 2 に絵型を描いたとする
どの様な順序で描いてもレイヤー 1 よりもレイヤー 2 に
描いたものは絶対的に上に重なる。
これはレイヤー 1 のオブジェクトを右クリックして
最前面に移動してもレイヤー 1 よりも上に来る事はない。